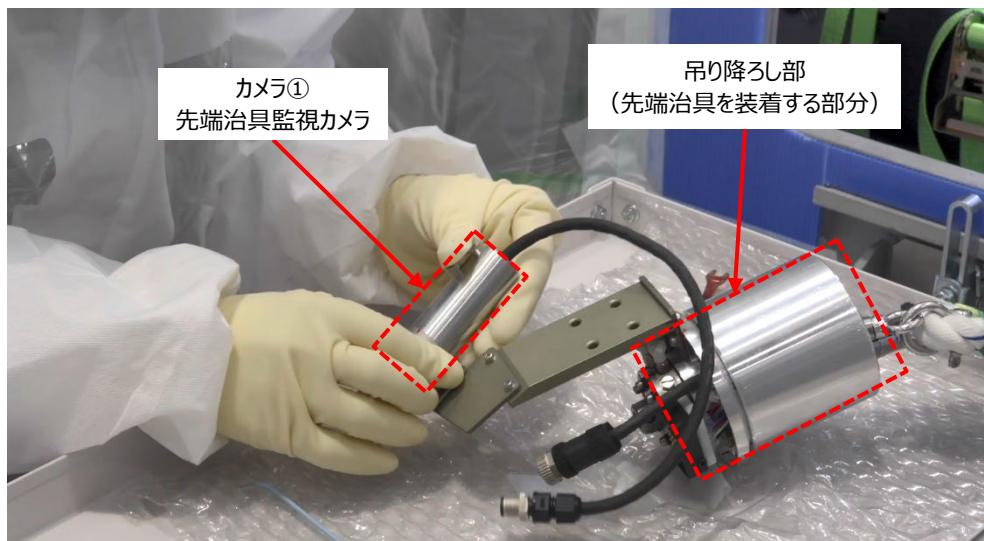
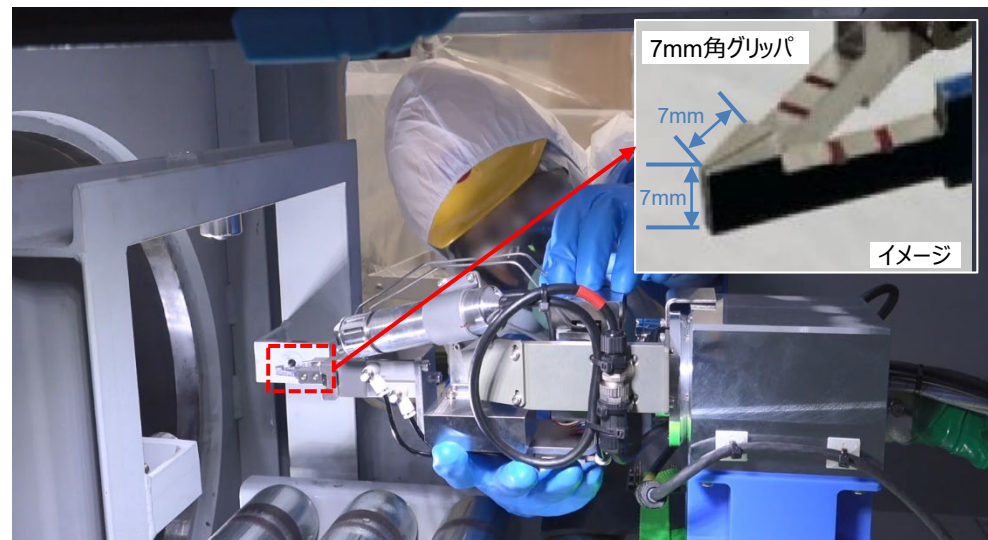


- 2号機原子炉建屋内における押し込みパイプ接続などの作業員の訓練について、3月25日から3月31日にかけて実施。
- 4月1日以降、カメラ・先端治具の交換作業に向けた環境整備作業（局所排気装置の起動など）や作業用ハウスの設置を実施。
- カメラ・先端治具の交換作業に向けた準備が整ったことから、4月4日からテレスコ式装置本体のカメラ（①先端治具監視カメラ、②アーム先端部カメラ）および改良した先端治具へ交換を2週間程度かけて行う予定。
- また、2回目の試験的取り出し作業では、前回の燃料デブリ取り出し作業での実績を踏まえ、燃料デブリを採取する際の大きさの目安となるグリッパのサイズを【5mm角→7mm角】に変更する。
- なお、具体的な取り出し開始時期については、改めてお示しする。



カメラ交換作業



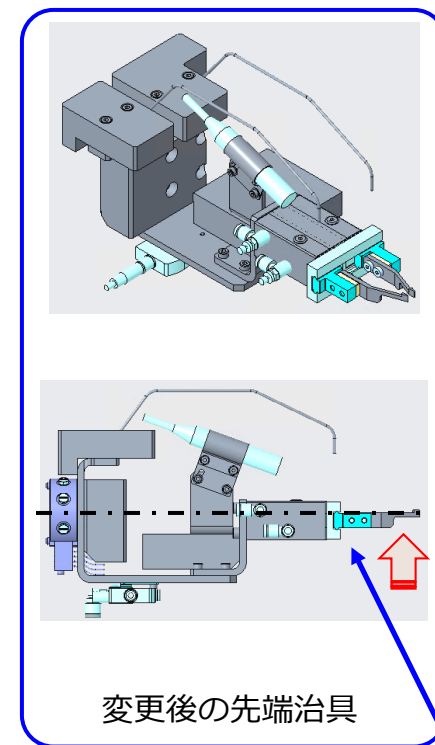
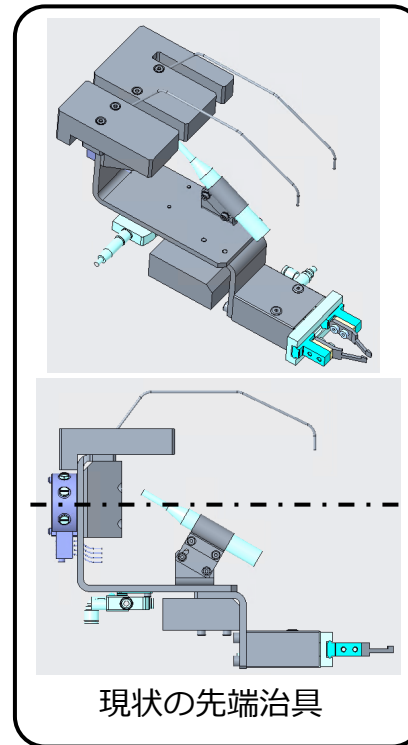
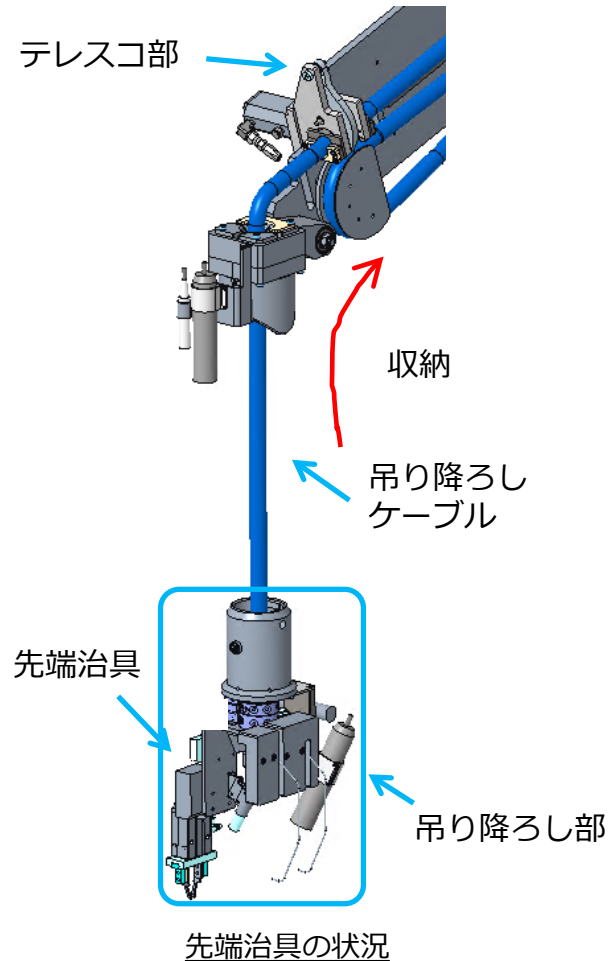
先端治具交換作業

カメラ・先端治具交換作業の訓練状況  
(場所:三菱重工業株式会社神戸工場)

※写真は全て2025年3月19日に撮影 1

## テレスコ式装置による追加の燃料デブリ採取

- 初回の燃料デブリ採取の際に、先端治具の動作時に吊り降ろし部が安定せず、先端治具の操作に時間を要したことから、追加の燃料デブリ採取時には先端治具を改良し操作性の向上を図るべく検討を進めている。



グリッパ把持部の設置位置を  
先端治具の巡回中心位置に変更し、  
安定性向上

先端治具改良のイメージ図